

放射性同位元素装備診療機器設置届

年 月 日

（宛先）奈良市保健所長

管 理 者 氏 名

次のとおり放射性同位元素装備診療機器を設置するので、医療法第15条第3項（医療法施行規則第27条の2）の規定により届け出ます。

施設	名称	(開設者名 :)
	所在地	〒 電話 ()
使用開始予定日	年 月 日	

I 概要

- II 放射性同位元素装備診療機器
- III 放射性同位元素装備診療機器使用室等
- IV 放射性同位元素装備診療機器使用者

添付書類

- 1 放射性同位元素装備診療機器使用室の詳細図（管理区域を明示し、隣接室名、上下階の室名、線源と画壁との距離、画壁の鉛当量、事業所の境界並びに管理区域の標識、使用中の表示及び注意事項の標識の掲示した位置等が明記されたもの）
- 2 放射性同位元素装備診療機器使用室線量測定結果（使用条件等記載）等
- 3 遮蔽計算式

I 概要

使用室名	台数	管球数	備 考

II 放射性同位元素装備診療機器

放射性同位元素装備診療機器	製 作 者 名				
	型 式				
	用 途	骨 塩	ECD	輸 血 用	
	漏 え い 線 量	使 用 時	表面の線量率600nSv/h 以下・超	表面の線量率600nSv/h 以下・超	1mの線量率6μSv/h 以下・超
		使 用 し な い と き	1mの線量当量6μSv/h 以下・超		
	線 源	耐 火 構 造	適 ・ 否		
	取 納 容 器	線源を容易に取り出しが できない措置及び脱落防止措置 導入口及び排出口のキャ ップ等による密封構造	適 ・ 否		
		ねじ等で機器に固定できる 構造	適 ・ 否		
		機器に固定されていて、容易 に取り外しできない構造	適 ・ 否		
	機 器 開 口 部 の か ぎ 等 の 閉 鎖 設 備 ・ 器 具			適 ・ 否	
	装 備 す る 放 射 性 同 位 元 素 の 種 類	¹²⁵ I、 ²⁴¹ Am、 ¹⁴³ Gd	⁶³ Ni	¹³⁷ Cs	
	装 備 す る 放 射 性 同 位 元 素 の 数 量	Bq	Bq	Bq	
		0.11TBq 以下・否	740MBq 以下・否	200TBq 以下・否	
	機 器 本 体 の 標 識	有 ・ 無			
	使 用 場 所				

III 放射性同位元素装備診療機器使用室等

使用室等の障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要	室名（保管場所）			
	主要構造部等		耐火構造・不燃材料・その他（ ）	
	周囲の画壁等 （構造材料厚さ）	天井		
		床		
		周囲の画壁		
		出入口の扉		
	その他の開口部		有（ ）・無	
	防護省略の部分		有 ・ 無	
	外部に通じる部分の閉鎖設備又は器具			
	使用室である旨を示す標識		有（別添図面のとおり）・無	
	間仕切り等の予防措置		有（ ）・無	
	放射線障害防止に必要な注意事項の掲示		患者注意	有（別添図面のとおり）・無
			従事者注意	有（別添図面のとおり）・無
	管理区域	管理区域の場所		別添図面のとおり
		管理区域である旨を示す標識		有（別添図面のとおり）・無
		境界における実効線量		1.3 mSv / 3月以下・超
立入制限措置		有（別添図面のとおり）・無		
敷地内居住区域及び敷地境界の実効線量		250 μSv / 3月以下・超		
入院患者の被ばく防止措置		1.3 mSv / 3月以下・超		
被ばく防止に関する措置				
放射線診療従事者等の被ばく線量測定器				

VI 放射性同位元素装備診療機器使用者

氏名 (生年月日)	職種	放射線診療に関する経歴 (資格取得年月日及び免許証番号等)